

平成28年度オオダイガハラサンショウウオ現地学習会（大杉谷国有林）

7月26日、平成21年から通算8回目となるオオダイガハラサンショウウオ現地学習会が開催されました。この学習会は三重県の天然記念物に指定されているオオダイガハラサンショウウオの保護、また、その生息地で業務を行う者としての自然環境保護に対する意識の向上を目的として、三重県農林水産部、三重県教育委員会事務局、三重森林管理署が主催し、毎年7月頃に実施しています。今回の学習会には県、町、署の関係者18名が参加し、講師である清水善吉氏（三重県文化財保護指導委員）の指導の下、生息調査を行いました。1時間半程度の短時間の調査でしたが幼体9匹、亜成体1匹の生息を確認できました。残念ながら成体の確認はできませんでしたが、例年通り繁殖していることを確認できました。調査を実施した大杉谷国有林は、今年拡張登録された「大台ヶ原・大峯山・大杉谷ユネスコエコパーク」の核心部分になっています。三重署としては今後とも職員が貴重な動植物についての知識を習得するとともに、関係機関と連携を密にし、大杉谷国有林の豊かな森林・自然環境の保全に取り組んでいきます。



1) 生態説明



2) 計測の様子



3) 幼生



4) 亜成体